

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第2部門第4区分  
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2004-216590(P2004-216590A)  
【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)  
【年通号数】公開・登録公報2004-030  
【出願番号】特願2003-3673(P2003-3673)  
【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 13/10

B 6 5 H 11/00

【F I】

B 4 1 J 13/10

B 6 5 H 11/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月22日(2005.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

トレイに収納された第1の記録媒体を取出して搬送しつつ記録し、また、内蔵された補助トレイに収納された第2の記録媒体を当該補助トレイごと搬送しつつ記録する記録装置であって、

前記第1の記録媒体の搬送を案内する案内部材の媒体搬送経路側に回動自在に軸支したリブ部材を配設し、前記補助トレイが搬送途中で前記リブ部材を回動させることを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的達成のため、本発明に係る記録装置では、トレイに収納された第1の記録媒体を取出して搬送しつつ記録し、また、内蔵された補助トレイに収納された第2の記録媒体を当該補助トレイごと搬送しつつ記録する記録装置であって、前記第1の記録媒体の搬送を案内する案内部材の媒体搬送経路側に回動自在に軸支したリブ部材を配設し、前記補助トレイが搬送途中で前記リブ部材を回動させることを特徴としている。これにより、補助トレイが装置本体内の待機位置から装置本体外の媒体出入位置まで直線移動する際、補助トレイは第1の記録媒体の案内部材の媒体搬出経路側に配設されたリブ部材を回動させて避けるので、相互の干渉を防止することができ、トレイに収納された第1の記録媒体の搬送経路と、第2の記録媒体が収納された補助トレイの搬送経路を両立させることができる。